



国難

疑惑かくし解散から1年 首相の居すわりこそ

昨年、安倍首相が「森友・加計」「国難危機突破」解散と言いましたが、安倍首相の政権居座りこそ国難であることがはっきりしています。

米朝関係が劇的变化 改憲の口実崩れる

安倍首相は北朝鮮問題で「必要なのは対話ではない。圧力だ」繰り返してきました。ところが、この1年で2度の南北首脳会談（4月、9月）、初の米朝首脳会談（6月）など対話による平和解決の流れが劇的に拡大しました。首相はこれに何の役割も果たせず、「北朝鮮脅威」という9条改憲の最大の口実も崩れました。



会談に臨む米朝首脳
脳 6月12日放映
HKテレビより

「森友・加計」疑惑ますます 居直りは通用せず

「森友学園の小学校建設現場」大阪府豊中市
「総選挙で国民の審判を仰いだ。安倍首相は、「森友・加計疑惑」について居直りを続けています。しかし、みそぎは済むどころか疑惑はますます深まり続けています。共同通信の直近の世論調査でも「モリカケ」疑惑についての首相説明に「納得していない」が76・8%。□先だけの安倍手法は通用しません。



「森友学園の小学校建設現場」大阪府豊中市

野党共闘 画期的発展

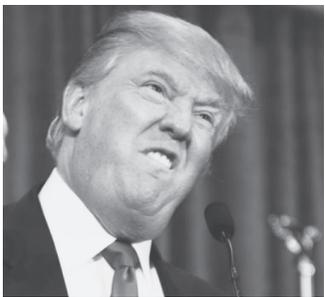
衆院解散直前、希望の党結党で野党共闘に分断が持ち込まれました。共産党は共闘再構築に取り組み、総選挙では全国67の小選挙区で候補者を降ろし、共闘勢力全体で大きく増やしました。今年の通常国会では、全原発の停止・廃炉を掲げた原発ゼロ法案など20本の野党共同法案を提出、自民党改憲案の国会提出も野党共闘の力で阻止しました。



日本共産党

↑原発ゼロ基本法案を提出する野党各党 3月9日

貿易協定



トランプ氏 「日本は大量の武器買うことに」

トランプ米大統領は9月26日の記者会見で、日本との貿易協定について「日本は膨大な軍事装備品を買ったことになる」とのべました。トランプ氏は会見で、日本が長年嫌

がってきた貿易協定交渉に今回の安倍首相との会談を経てようやくやる気になったと語り、「とても良い取引になった」と強調しました。

また日本に対して「私のために尽くさなければならぬ」「もっと（米国製品を）買わなければならない」と迫ったことを暴露。その結果、武器を購入することになった

といます